

2012 年 12 月 14 日
株式会社みずほコーポレート銀行

ラオス最大手銀行Banque Pour Le Commerce Extérieur Lao Public との業務協力協定の締結について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、ラオスの最大手銀行ビーシーイーエル（Banque Pour Le Commerce Extérieur Lao Public、以下「BCEL」；頭取 Vanhkhram Voravong）と、商業銀行業務及び投資銀行業務を含む広範な分野での業務協力協定（以下「本協定」）を 12 月 13 日付で締結しました。BCEL が邦銀と業務協力協定を締結したのは今回が初めてです。

本協定は、ラオスに進出を検討する日系企業に対し現地情報の提供及び進出後のサービス体制の充実を図るもので、具体的には①地場通貨サービス、②地場パートナー・地場販売先の紹介、③現地金融市場・規制にかかる情報交換、④研修・セミナーの実施、等を行なっています。

BCEL は、ラオス中央銀行の国際部門として 1975 年に設立され、現在も中央銀行が 70%の株式を保有する同国資産規模第一位の国営銀行で、国内ネットワーク網は 18 支店で、法人取引・外為取引に強みを持っています。

ラオスは、近隣諸国を含めたグレートメコンサブリージョン（以下「GMS」）における地理的な要衝に位置し、安価な労働力や物流上の利点を背景に、日系企業の進出が拡大しています。2011 年の GDP 成長率 8.0%と経済成長も著しく、投資先としての魅力が一層注目されています。当行は、本協定締結を機にみずほ銀行をはじめとする他のグループ各社と一体となり、GMS 進出におけるお取引先のニーズを幅広くサポートしていきます。

以 上